

# 令和6年度第3回県央地区保健医療福祉推進会議 議事録

日時：令和6年2月1日（木）19:00～21:00

方法：WEB会議

## 1 開会

### (1) 会議の公開について

本日の推進会議は、協議項目(2)を非公開とし、それ以外は公開とすることとされた。

## 2 議題

### 協議(1) 地域医療構想の進め方（2025 プランの更新等）について

○資料説明 説明者：事務局（厚木保健福祉事務所）

資料1 2025年に向けた対応方針の更新について

<会長>

ただいまの説明について、更新プランの関係者より補足等ありましたらお願いします。

<関係者>

当院は、療養病床1病棟、急性期2病棟で運営してきておりましたけれども、コロナに力を入れ、その後に高齢者の救急医療に力を入れてきました。看護必要度並びに在院日数、そして看護師の数などを検討した結果、療養病床が地域にまだまだ必要だということも踏まえまして、しっかり療養病床を運営することも皆のためだろうということでこういう提案をさせていただきました。機能の変更をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

<会長>

ただいまの説明について、ご質問、ご意見はありますか。

（質問、意見なし）

### 協議(2) 令和5年度病床整備事前協議について（非公開）

### 協議(3) 第8次保健医療計画素案について

○資料説明 説明者：事務局（医療課）

資料3-1 第8次神奈川県保健医療計画（素案）の概要

資料3-2 【別冊1】8次計画素案たたき台に関するご意見及び対応状況

資料3-3 【別冊2】第7次保健医療計画の評価について

（質問、意見なし）

## 協議(4) 第8次計画における基準病床数の検討について

○資料説明 説明者：事務局（医療課）

### 資料4 第8次計画における基準病床数の検討

<会長>

協議事項①の基準病床数の算定について、示された4パターンのうち、どのパターンを選択するのかについて、委員の皆様の御意見を伺いたいと思います。

<委員>

第8次計画期間中はずっとパターン4ということなののでしょうか。それとも、毎年パターンが変わってよいのか。

<事務局（県医療課）>

第8次計画は6年間の計画でございますが、中間見直しという形で、中間年に基準病床数も含めて見直しを行うことも予定しております。

<委員>

この後に病床機能毎の将来の数値というのは出てこないのでしょうか。

<事務局（県医療課）>

いまおっしゃられた病床の機能ですけれども、病床機能報告につきましては毎年度の制度ということで今後も定期的にご報告いただく想定でございます。

<委員>

中間で見直しが行われるということでよいとは思いますが、以前から申し上げているように、数字と現実が異なっているという感覚が出た時に、変えられる制度となってほしいと思います。

<委員>

コロナの影響を受けないように、コロナ前のデータを活用するということですが、アフターコロナになって現実的にはコロナ前に戻っていません。現実とおっしゃるが、本当に現実に即しているのかなど。仮試算では数字が多くなり過ぎたので、数字を調整して現状に一番近い値が出て、それがパターン4です。これでどうですか、と言っているように聞こえるのですが、あと、前に委員がおっしゃっていましたが、病床利用率を変更することで、今ある基準病床数で医療提供体制の維持が可能と考えられるのに、パターン4で過剰地域とみなされているのに疑問が残りますが、その辺は県の方はいかがでしょうか。

<事務局（県医療課）>

基準病床数の算定の仕方については、以前から全国一律の計算式でやっている中で、いま委員からご指摘いただいた側面があるのは否めないと思います。ただ、係数が変わることによって、かなり現実に近い数字に、実態に近い数字が算定できるようになってきました。たしかに委員がおっしゃったとおりであります。国一律の制度である中で、県の医療機関にとって運用しやすいものとして整理をしつつ、3年後の中間見直しで必要な見直しを行っていただければと思っておりますので、その部分についてはいろいろと行き届かないところもありますが、いまの中でベターな選択はこれなのかと思っております。

<委員>

いま先生方からご意見が出ましたように、この基準病床数を定める式自体がどこまで現実を反映しきれぬのかということと、違う数字を用いればかなり変わってしまうことと、コロナ前とコロナ中とこれからのアフターコロナで、これからはコロナ前に戻るわけではなくて、アフターコ

ロナということで、病床だけでなくいろいろなところが変わっていくと思います。30年前の医療需要と今と、患者さんの考え方も違ってくるので、この先については、病床を増やして対応していくというよりは、いまの病床のなかでやりくりをしていくということは、在宅や高齢者施設での医療提供も含めて、どこで医療を行っていくかということを決めていくことが地域医療構想なので、ベッドの数を決めていくことは地域医療構想の内のほんの一部だと思います。パターンによってどれだけ変わるかということについては、資料4の31スライド目をご覧くださいと、県央地域の場合は一般病床の病床利用率が全国平均並みということで低めです。一般病床の実際の病床利用率が75から76パーセントということになると、ほかの地域に比べるとベッドは空いている。いま医療課長がおっしゃったように、現実が一番近い数字になるパターンがパターン4なのかなと思います。今後、地域の中で医療需要の推移ですとか、この議論の中には医療人材の話なども全く入っていないので、ベッドだけではなくてトータルで地域のことを考えていくことが必要なのではないかなと思います。

<会長>

ほかにご質問がないようですので、事務局から提案のあったように、協議事項①は、県央地区はパターン4を採用することとしてよいでしょうか。また、協議事項②は、現時点では整備目標病床数を設定しないこととしてよいでしょうか。

(異議なし)

<会長>

続いて、協議事項③のさらなる運用上の工夫について、委員の皆様の御意見を伺いたいと思います。

(意見なし)

<会長>

それでは、この議題の協議は終了いたします。

#### 協議(5) 紹介受診重点医療機関の公表について

○資料説明 説明者：事務局（医療課）

資料5 紹介受診重点医療機関の公表について

(質問、意見なし)

#### 協議(6) 国検討会における議論及び本県における令和6年度以降の議論の方向性案について

○資料説明 説明者：事務局（医療課）

資料6 国検討会における議論及び本県における令和6年度以降の議論の方向性案について

(質問、意見なし)

## 報告(1) 第3回県央2次医療圏地域ワーキンググループの実施結果について

○資料説明 説明者：事務局（厚木保健福祉事務所）

資料7 第3回県央2次医療圏地域ワーキンググループ結果概要

<会長>

ただいまの説明について、病院協会の方から補足がありましたらお願いします。

<委員>

高度急性期の調査結果ですが、HCUを含めて高度急性期が本当に足りていないのかどうかということについて現在議論中でございます、これについてある程度の結論を得ないと、高度急性期病床への病床転換といった議論がうまく進んでいかないということになるのではないかと思います。

<委員>

いまの委員のお話ですが、基準病床数が、地域の実態に合わせてという数値と、国の基準に合わせた数値に似たようなものにせざるを得ないというか、それをするによってより議論が深まるだろうという発想だったと思うのです。高度急性期も同じような考え方をした方がよいかと思しますので、各病院によってかなりばらばらな報告の仕方になっているので、実際問題として高度急性期がそこまで逼迫しているようには感じていないので、国の出している数字であったり、そこを、寄せるというか、そのような形を考えてもよいのかなと思ったので発言しました。

<委員>

高度急性期と急性期は、境目がそれほどはっきりとしていなくて、HCUを含めた届出病床の方で線を引くのかということ、特定機能病院などは全部高度急性期にしていたり、高度急性期というのは自己申告が原則となっております。そこはあえて基準を明確にしないでということになっているということは、私の解釈では、高度急性期と急性期を足した2つが足りているか足りていないかは別ですけれども、高度急性期だけが足りないという言い方を、あまりむきになってそこを増やすというのは、私はないのかなと思います。議論としてそこについて線を引いていくというのは一つの正しい道で、もう一つはそこに関しては両方足して足りていればという解釈もあるのかなと思いました。

## 報告(2) 令和5年度第2回地域医療構想調整会議結果概要について

○資料説明 説明者：事務局（県医療課）

資料8 令和5年度第2回地域医療構想調整会議結果概要

(質問、意見なし)

## 報告(3) 医療法第7条第3項の許可を要しない診療所に係る協議結果について

○事務局（厚木保健福祉事務所）より、令和5年度第1回県央地区保健医療福祉推進会議で協議した案件について、令和5年10月20日に開催された令和5年度第2回神奈川県

医療審議会での協議を踏まえて、医療法第7条第3項の許可を要しない診療所として決定されたことについて報告。

(質問、意見なし)

<会長>

本日予定した報告及び議題は以上ですが、その他皆様から、ご意見、ご要望等がございましたら、ご発言ください。

<委員>

リクエストになります。第8次保健医療計画もほぼ固まってきたと思いますが、この会議の今後の在り方として、病院が集まって意見交換する場は作っていただきましたが、介護施設や在宅とつながるような場について、すぐには言いませんが、何か仕掛けを考えていただきたい。私も提案していきたい。

(以上)